

# 津波

# の予備知識

## 迅速な避難をするために

この津波ハザードマップに表記してある浸水区域の津波レベルは、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波を設定しています。津波から命を守るには、ためらわず迅速な避難をすることが大事です。



### とるべき避難行動を確認しましょう

地震の揺れを感じたら！

強い地震だけではなく、弱い地震であっても、長時間の地震を感じたときも。

津波警報が出たら！

避難指示が出たら！

正しい情報の入手  
テレビ・ラジオ・  
防災行政無線など

必要があれば  
ただちに避難！

ただちに避難！

安全な場所へ  
・指定の緊急避難場所へ  
・海岸にいる人は、近くの高いところへ

### 津波警報・津波注意報と避難のポイント

- 「巨大」「高い」という言葉での発表は非常事態です。東日本大震災のような津波が来るとして、一刻も早く避難してください。  
※高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。
- 震源が陸地に近いと、津波警報や注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。  
強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により、予想より高くなる場合があります。  
より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波は長い時間何度も繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が高くなる場合があります。  
津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、  
または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。



### ❗ 事前に確認しておきましょう

- ・ 家族や地域で避難方法などについて話し合っておきましょう。
- ・ 隣近所などの身近に避難のお手伝いが必要な人が居ないか確認しておきましょう。



### ❗ 避難情報に従いましょう

- ・ 避難に関する情報を無視するのは、きわめて危険な行為です。必ず従いましょう。
- ・ 避難情報が発令される前に津波が襲来する場合があります。  
どんな状況でも情報を掴めるようにスマートフォンや携帯ラジオ等を備えておきましょう。



### 東日本大震災の 津波避難行動の 教訓

- 安全に避難するには**早期避難**が重要
- **避難の呼びかけ**や**率先避難**が避難をうながす要因になる
- 迅速に避難した人は、**津波襲来に対する意識が高い**
- 「家族を探す」「忘れ物をとりに自宅へ戻る」などの行動が**避難を妨げる**
- 車で避難した人の1/3が**渋滞に巻き込まれ**被害にあった

